

第二期事業報告

【概要】

知識流動システム研究所（KMS : Knowledge Mobility based System Institute）は、任意組織である知的財産マネジメント研究会（Smips）知識流動システム分科会（KMS : Knowledge Mobility System）を元に、2016年10月5日に一般社団法人としての設立から二期目を終えることができました。

第二期は、設立目的として掲げた「知識を流動させ、知識を活かす、また、その知識の再構築に貢献すること」を対して、第一期の成果を礎しながら、科学コミュニケーションの視座から知識流動および知識活用のための基盤形成に努めました。特に国立研究開発法人日本医療研究開発機構（以下、AMED）から2018年6月に委託された「平成30年度ゲノム医療研究支援機能情報ポータルサイト支援業務」（約1,300万円）では、ゲノム医療研究に携わる若手研究者・10名、国内バイオバンクおよびゲノム研究に関わる有識者・20にヒアリングし記事としてまとめ、AMEDのWebサイト（<https://www.biobankAMED.go.jp/index.html>）にて随時公開すべく、第三期にかけて作業を進めています。また、研究者向け科学コミュニケーション基礎研修は、北海道・札幌市や九州・熊本市でも展開しました。知財創造教育活動の成果は、2018年5月に開催された知財学会知財教育研究会で発表しました。

【運営体制】

役員

代表理事	西村 由希子	特定非営利活動法人 ASrid 理事長
理 事	小泉 周	自然科学研究機構 研究力強化推進本部 特任教授
	大崎 章弘	お茶の水女子大学サイエンス＆エデュケーションセンター 特任講師
	天元 志保	国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST） 科学コミュニケーションセンター 調査員（～2017年9月30日）
監 事	隅藏 康一	政策研究大学院大学 教授

フェロー（五十音順）

奥本 素子	北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）准教授
大渕 希郷	科学コミュニケーター
清水 修	一般社団法人アカデミックグループ 代表理事
吉澤 輝由	北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）特任助教
本田 隆行	科学コミュニケーター
森田 由子	日本科学未来館 プログラム企画開発課 科学コミュニケーション専門主任

【資本金】 0円

【主要取引先】

国立研究開発法人国立環境研究所様／国立研究開発法人産業技術総合研究所様
国立研究開発法人日本医療研究開発機構様／国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構様

【所属学会、外部委員等】

内閣府「知財創造教育推進コンソーシアム」検討委員会委員（2017年1月27日～）
日本知財学会 会員（隅藏・天元）
SDGs市民社会ネットワーク 情報会員

【第二期理事会開催実績】

第 10 回／2017 年10月 31日	第 15 回／2018 年 4 月 11日
第 11 回／同 年11月 24日	第 16 回／同 年 5 月 25日
第 12 回／2018 年 1 月 25日	第 17 回／同 年 6 月 16日
第 13 回／同 年 2 月 21日	第 18 回／同 年 7 月 27日
第 14 回／同 年 4 月 9日	第 19 回／同 年 9 月 10日

【第二期社員総会開催実績】

第 2 回定時社員総会／2018年12月27日
第 2 回臨時社員総会／2019年 3 月13日

事業成果

研究者向け科学コミュニケーション基礎研修

現役研究者や次世代の研究者となりうる学生・院生を対象に、名古屋大学・戸田山和久教授が開発された科学コミュニケーションの基礎力向上のための研修プログラム（講義とワークショップ）を実施することを通じて、専門家と非専門家との知識流動の在り方を考察しています。



【第二期実施実績】

2017年10月10日

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター（参加者：約40名）

講師：小泉 周、北海道大学 高等教育推進機構 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）准教授 奥本素子・

特任助教・古澤輝由、アシスタント：天元 志保

2017年11月6日

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター（参加者：約30名）、講師：大崎 章弘、

本田 隆之、アシスタント：天元 志保

2017年11月28日

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究所 つくば本部（参加者：約40名）、講師：大崎 章弘、日本科学未来館 森田 由子、アシスタント：天元 志保

2018年4月10日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所（参加者：約 100名）、講師：大崎 章弘、こども国連環境会議推進協会 事務局長、LEGO® SERIOUS PLAY® 公認ファシリテーター 井澤友郭、アシスタント：天元 志保

発明・発見教室

発見することの面白さ、発明することの大切さを伝えるべく、自主製作した知財絵本を用いた読み聞かせ、ならびに、ワークショップを2005年から開始。（全国開催・延べ参加人数3100人）2009年から現在まで年2回実施している東京都江東区の東川小学校ウィークエンドスクールで得た知見を活かし、全国へ出前教室を行っています。



【第二期実施実績】

2017年 11月18日 江東区東川小学校ウィークエンドスクール 「ふれあい天文学」

講師：自然科学研究機構 国立天文台 TMT推進室 林 左絵子（参加者：約30名）

2018年 6月30日 江東区東川小学校ウィークエンドスクール 「生きものから学ぼう！最新のネイチャー・テクノロジー」

講師：KMS フェロー 大渕 希郷（参加者：約40名）